みんなのSDGs宣言発表会
in イオンタウン富士南

キーワード　地域活性化・地域貢献・地産地消・耕作放棄地

○取り組んだきっかけ

三井ゼミでは、富士宮市下条地区の「南条の里　農地保全会」と共に、耕作放棄地を利用した大豆の無農薬栽培に取り組み、さらに収穫した大豆を豆腐や味噌に加工して、地域イベントで販売する活動を行っています。私たちのこの活動は、地域貢献やSDGsの目標達成に貢献していると考えられるため、この活動を地域にもっと知ってもらうことを目的に、ショッピングモールでのSDGsイベントを開催しました。

○具体的な内容

令和5年8月5日（土）にイオンタウン富士南（富士市）で「第4回みんなのSDGs宣言発表会　～私たちに『#できないことなんてない』～　常葉大学社会環境学部の学生が創る Beyond the Limits」を開催しました（富士市が主催し、業務委託を受けたofficePturnと共に、我々が企画・運営を行いました）。
本イベントは、地域の学生や企業によるSDGsに関するアイデアやプロジェクトの発表をするイベントで、持続可能な社会を実現するために具体的なアクションを共有し、地域社会全体でSDGsに取り組む姿勢を強化することを目的としたものです。
令和5年度「とこは未来塾-TU can Project-」に係るプロジェクト助成にゼミ生が応募し（「SDGsで富士市・富士宮市を元気にしたい！」（常葉大学社会環境学部　三井・池田ゼミ））、採択され、この助成を受けイベントに取り組みました。
イベントでは、社会環境学部石田学部長による「常葉大学社会環境学部のSDGsの取り組み」の他、学生によるSDGsへの取り組みの発表が行われました。その他、富士市立高校の学生、地元の企業にも発表していただきました。また、学生により、「みんなでSDGsクイズ」と題したクイズ大会を行い、幅広い世代の多くの方にSDGsを気軽に学んでもらい、関心をもっていただくことが出来ました。

令和5年11月11日（土）にもイオンタウン富士南で第5回「みんなのSDGs宣言～一緒に持続可能な未来への道を歩もう～」を開催しました。「石部棚田保全ボランティア活動について」や「古民家の活用と地域活性化を目指して」と題した我々ゼミ生の発表の他に、静岡県立大学と青山学院大学共同で行われたワークシェア事業の紹介、Radio-f富士コミュニティエフエム放送の高校生記者による発表などが行われました。
今回は、さらに小中学生などの若い世代によりSDGsに関心を抱いてもらえるように、「SDGsくじ引き大会」を学生が企画しました。SDGs17の目標ごとに問題が書かれたくじを用意し、答えてもらうことで、私たちが収穫した米や大豆から加工した味噌などを景品としてプレゼントしました。

○期待される効果

本イベントは、週末のショッピングモールで開催することで、一般のお客様に足を止めてもらい、SDGsについて一緒に考えてもらおうということも目的としているため、学生が考えたクイズやくじ引きなどの企画はSDGsをもっと身近に考えるきっかけになったのではないかと思います。
また、三井ゼミは、SDGs推進のために富士市が発足させた『富士市SDGs共想・共創プラットフォーム』における参加者（行動宣言者や推進企業登録者）のプロジェクトや企業活動などを支援することを役割とする『富士市SDGs未来都市応援団』として認証を受けました。我々は、耕作放棄地の新しい農地としての有効活用と、収穫された農産物を活用した新たな商品開発を通して、地域の活性化に取り組んでいることから、SDGsに関する講演、出前授業などのほか、ゼミ学生たちの若い力、若者らしいアイデアを提供するなど、SDGs達成を目指す取り組み、地域活性化の支援をしていきたいと考えています。

教員名　三井哲雄
所属学部　社会環境学部社会環境学科
職位　准教授

連携先

富士市、officePturn、イオンタウン富士南
南条の里農地保全会